

平成30年度 文化幼稚園 教員による自己評価について

平成30年度の当園の教員による自己評価をご報告いたします。

評価方法は4:とても思う、3:まずまずと思う、2:あまり思わない、1:全く思わない の4点法で行ないました。

評価内容については教育内容の計画・保育のあり方・対応などを16に分け、それを81の評価項目に分類しました。全体を通しての平均は3.5になりました。主だったものを下の表にまとめましたが、各分類の中での内容から評価点の一番高いもの、一番低いものを記載しています。

No.	評価分類	評価内容	平均評価
1	園の教育理念・教育方針の理解	園の教育理念や教育方針を理解している。	3.5
		園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	3.5
2	環境の構成	安全で清潔感のある環境構成をしている。	3.6
		幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている。	3.4
3	健康と安全への配慮	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境や言葉がけを行っている。	3.6
		基本的な生活習慣に関して常に指導をしている。	3.3
4	幼児のみとりと理解	幼児の話やサインを受けとめ、一人ひとりを観察している。	3.5
		幼児が今、興味や関心をもっていることがわかる。	3.5
5	指導計画	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている。	3.7
		地域の自然や文化施設・行事を指導計画に位置づけている。	3.1
6	保育のあり方と 幼児への対応	食事のマナーや食育などについて、具体的にかつ継続的に指導している。	3.8
		幼稚園教諭として専門知識や技能を身につけている。	3.1
7	保護者との情報交換	保護者の気持ちに寄り添いながら話を聞き、自分の考えをきちんと話している。	3.5
		クラスで取り組んでいる活動のポイントについて知らせている。	3.2
8	専門性に関する研修や 研究	自分の保育について課題をもって計画と反省を行なっている。	3.5
		遊具や教材についての研修・研究を行なっている。	3.1
9	今日的課題	幼小連携など就学を見通した保育についてや、あり方について学習している。	3.4
		幼児教育新制度の動向に注視し学習している。	3.1

評価項目が多岐にわたっており、すべてをご紹介はできませんが、自己評価の結果により、教員一人一人が問題点を的確に把握できるほか、園全体として今後の教育方針を立てていくための参考としています。今年度に関しては、前年度に比べほとんどの項目でポイントが下がっており、平均点が0.2ポイント下がりました。今一度、教員一人ひとりが日々の保育を振り返り、自覚し、資質を高めていけるような取り組みをしたいと思っています。また、ポイントの下がった項目については、重点的な改善に向け努力するとともに、「魅力ある園づくり」を目指し、幼稚園全体の教育水準の向上と充実に努めて参りますので、どうかこれからもよろしくお願いいたします。以上、教員による自己評価の結果報告といたします。